

中医協「2012年度第2回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」 2012/5/29 次回改定に向けスケジュールを確認

診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（分科会長：小山信彌・東邦大学医学部外科学講座教授）は5月29日、次回診療報酬改定に向けたDPC制度に関する検討スケジュールを確認した。

事務局は、DPC制度の在り方及び制度運用上の課題に関する検討項目を提示。「在り方」に関する項目として、基礎係数や機能評価係数Ⅱは病院運営に与える影響が大きいこともあり、2012年秋までに基本方針を取りまとめるとした。また、DPCの精緻化については、2013年秋までに見直し案の取りまとめを目指す。

「制度運用上の課題」に関する項目では、機能評価係数Ⅱの地域医療指数における体制評価指数の手続きルールを、2012年夏までに整備したい意向を示した。同指数が評価する体制を満たしているか否か、医療機関が地方厚生局等とあらかじめ確認した上で毎年秋に届出を行う方式を導入したい考えで、今秋の導入を目指す。そのほか、算定ルール等の見直し案や適切なDPCコーディングに向けた対応案の取りまとめを、2013年末までに行うとした。DPCコーディングでは、どの医療資源病名を選べば良いか等について現場で混乱が生じていることから、マニュアルの作成や質の評価手法の開発等に取り組んでいく。

■2012年度退院患者調査項目を了承

会合では、2012年度のDPC調査（退院患者調査）案についても議論。今回新たに設定する評価・分析項目として、①外来診療、②施設機能、③診療情報活用、④総合病院精神科診療——を挙げた。

①は、入院医療を直前・直後の外来診療も含め一体的に評価するためのもので、2012年度改定で外来データ収集の仕組み等が創設されている。②は、医療機関群におけるDPC病院Ⅱ群の実績（医師配置）要件などで、現行のデータ以外の人員配置状況を把握する必要があることに対応するもの。③は、DPCデータを基にした医療の質的な評価指標をホームページ（HP）等で公表することを推進するため、機能評価係数Ⅱでの評価に向けた現状把握が求められているもの。④は、DPC参加病院の精神科病棟に対する退院患者調査の、適切な評価の在り方を検討するために現状を評価するものと説明。委員からの反対はなかった。

■DPCデータ提出、遅延件数減らず

事務局は、DPCデータ提出の状況を報告。データ提出の遅延等に対し報酬が減額されるペナルティが導入された過去11カ月分のデータをまとめ、毎月一定程度の遅延等がある現状を示した。3病院については、提出の遅延等が2回あった。

対応案では、ペナルティにかかわらず遅延等件数が減らないことに対し、ルールの周知や注意喚起を行うとした。また、遅延等のあった医療機関は厚生労働省より通知が行われるが、委員からは、HPでより分かりやすい場所に表示するよう要望がなされた。

次回の開催予定は6月下旬。